

2020 (令和 2 年) 年度 事業報告

- 1) 環境保全事業
対象国：マダガスカル共和国
＜④自然環境の再生を図る事業＞
- 2) 図書館建設事業
対象国：マダガスカル共和国
＜③途上国における教育水準の向上に必要な事業＞
- 3) 経済活動の活性化を図る事業
対象国：マダガスカル共和国
＜①途上国の経済的自立に必要な事業＞
- 4) 人材育成事業
対象国：タイ王国
＜⑥途上国の人たちとの相互交流により国際社会に通ずるリーダーを育成するために必要な事業＞
- 5) 古着の寄贈事業
対象国：マダガスカル共和国

2020（令和2年度）
特定非営利活動法人アイユーゴー
事業報告

1) 環境保全事業

<④自然環境の再生を図る事業>

事業地：マダガスカル・マンゴロ県

Ambohidava village, Ambatosoatra commune, Alaotra Mangoro
Region

助成団体：国土緑化推進機構

助成金：1,716,000円

事業内容：マダガスカルの自然再生（植林活動）

マダガスカル共和国アラトラ省のアンボヒダヴァ村において、植樹を行い土砂災害を防止する環境修復活動を行った。私たちはアンボヒダヴァ村の Maroalazana(10ha), Andranomena(6ha), Andranomainty(6ha)の3地区において合計22haのうち15haに、ユーカリ16,000本、アカシア9,000本、ピナス500本を植樹した。期間は9月から翌2月の間であり、そのうちの9日間におよそ380家族（およそ2,700人）が参加し、学生は、230人であった。植栽の専門家はあらかじめ集会所で参加者たちに日程など植栽に必要な情報を説明し、さらに植栽時に現場で植栽の方法を指導した。なお、コロナ禍にあつて、現地には行けなかった。

2) 図書館建設事業

<③途上国における教育水準の向上に必要な事業>

事業地：マダガスカル共和国アナラマンガ地方フィハオナナ村

Madagascar Analamanga Region Fihaonana commune

助成団体：ひろしま祈りの石国際教育交流財団

助成金：1,482,000円

事業内容：図書館建設

子供たちのために図書館を建設した。村の人たちの識字率は15%である。安全な水もなく電気もない生活状況の中にあつて国の行政がほとんど関わっていない。住民たち自身の精神的・経済的自立を図る手立てのひとつとして、子供の時分から読書によって学ぶ姿勢を作ることに協力した。なお、コロナ禍にあつて、現地に行けていない。

3) 経済活動の活性化を図る活動（継続事業に）

<①途上国の経済的自立に必要な事業>

事業地：マダガスカル共和国アナラマンガ地方フィハオナナ村

Analamanga Region Fihaonana commune

助成団体：（交渉予定）JICA関西（草の根技術協力事業）

事業内容：シナモンの葉からシナモンオイルを生産してフィハオナナの住民の生活向上を図る事業

2021年度に継続する予定である。

ベトナムでオイルの抽出機を購入し、マダガスカルに送付。それをもって事前にシナモンの葉からオイルを抽出する実験をし、良質のオイルであれば、クアン氏をフィハオナナに派遣し、シナモンオイルの品質改善の事業を推進すべく準備を行う、ということは、コロナ禍にあつて、実施できていない。

4) 人材育成事業（継続事業に）

<⑥途上国の人たちとの相互交流により国際社会に通ずるリーダーを育成するために必要な事業>

事業地：タイ王国

助成団体：三菱UFJ国際財団

助成金額：500,000円

事業内容：「少数民族とともに国際社会を考えるセミナー」

タイのチェンマイ近郊に居住するカレン族の人たちとの合同セミナー

助成金辞退

2020年1月30日に、本事業の申請書を三菱UFJ国際財団に提出し、5月25日給付決定の知らせを受けた。助成交付金は500,000円であった。しかし、新型コロナウイルス感染の第2波等の危険性ならびに渡航・入国制限等でタイ王国での実施は不可能だと判断し、6月9日に三菱UFJ国際財団に辞退を申し出た。

5) 古着の寄贈事業（継続事業に）

事業地：マダガスカル共和国

事業内容：アンボヒダバの子供たちへの古着の寄贈（T-シャツ）

寄贈者：NPO法人ホームビジットとんとん 森崎 シヅ子様

協力要請：コロナ禍にあつて、マダガスカルを訪問することができなかつたため、次年度継続事業とした。

以上